

産業振興部

まちのブランド観光課

1 シティセールスの推進

(1) 第6回三田ビール検定

川本幸民が残した日本人初のビール醸造の業績にちなみ、市のブランドとしてビール文化を創造し、三田市を「川本幸民を育んだまち」として発信するため、三田ビール検定を実施した。

ア 第6回三田ビール検定

令和5年11月3日（金・祝）まちづくり協働センター

受験者数 111人、合格者 92人

イ 検定セミナー

第1回 検定セミナー「三田のまちの文化を知る～三田ビール検定へのお誘い～」

9月3日（日）参加者数 75人

第2回 検定セミナー「ビール検定直前セミナー」

10月1日（日）参加者 69人

オープンセミナー三田の伝統文化「三田音頭」体験

7月29日（土）参加者 14人

(2) サンタ×三田プロジェクト

「三田」と音の響きが似ている「サンタ」を魅力資源として活用し、①三田市に対する市民の愛着を高め、②市外のファンを増やすことを目的に実施。事業実施に際しては、市民・団体・事業者・学生・報道機関と連携し、市全体として盛り上げた。

期間：12月1日（金）～12月25日（月）

ア オープニングセレモニー

市庁舎コンサートの実施及びプロジェクションマッピングの上映。

12月1日（金）市役所1階ロビー・風の広場 参加者数約120名

イ 巨大クリスマスツリーの設置

約200個のオーナメントやイルミネーションに装飾を施した高さ約5mの巨大クリスマスツリーを展示し、ツリーに飾り付けたイルミネーションを点灯。

12月1日（金）～12月25日（月）＊準備のための設置は11月18日（土）～

市役所1階ロビー

ツリー展示に関するアンケート 良かった197件、良くなかった4件

ウ 子ども作品展

市内園児が公園などで拾い集めた木の実や葉っぱ等を使って作製した作品を本庁舎及び南分館の窓口カウンターに展示。

12月1日（金）～12月25日（月） 作品数 市内9園、計126作品

エ 関連イベント集約発信

サンタ月間に市・市民・事業者・団体が実施する多様なサンタ関連のイベン

トを集約して発信し、市全体でサンタ×三田プロジェクトを盛り上げる。
12月1日（金）～12月25日（月） 企画数 24企画

2 さんだ夢大使

新宮 晋氏（造形作家）

都市ブランドのイメージアップと知名度向上を図るとともに、三田市のまちづくりに対する提言等を通じ、ひと・さと・食の魅力あふれる三田を国内外に広く発信していくことを目的としている。

3 観光の振興

(1) 市内観光の現状

ア 観光入込客数 約 3,457 千人（うち日帰り客が約 96.0%）

イ 目的別入込客数

（ア）主な場所

公園 1,293 千人、温泉 342 千人、ゴルフ等 303 千人、
施設見学 299 千人、文化施設 160 千人

（イ）目的

a 行楽型（遊ぶ・休養する観光）	1,857 千人（全体の 53.7%）
b 観賞型（観る観光）	1,082 千人（全体の 31.3%）
c スポーツ型（体験する観光）	323 千人（全体の 9.3%）
d その他（宿泊客等）	195 千人（全体の 5.6%）

(2) さんだのまちを遊ぶ博覧会 2023

三田市観光ビジョンの方針に基づき、市民・事業者・団体・行政が協働し、三田の多様なまちの魅力を磨きあげて発信することで、まちの活性化につなげていくことを目的としている。

期間：10月14日（土）～11月12日（日）

プログラム数：40 個

（ジャンル別内訳：歴史・文化 14、暮らし 6、自然 11、学び 6、スポーツ 3）

延べ開催プログラム回数：66 回

参加者数：804 人

(3) （一社）三田市観光協会との連携

（一社）三田市観光協会と連携し観光振興事業を行った。

ア 三田市総合案内所の運営

三田駅前キッピースクエアにある「三田市総合案内所」において、行政情報の提供、観光情報の発信をしている。

【三田市総合案内所の利用者数】

	利用者数		利用者数
--	------	--	------

4月	936	10月	886
5月	914	11月	865
6月	782	12月	749
7月	683	1月	629
8月	619	2月	711
9月	715	3月	1,023
合計	9,512人		

イ 召しませ三田観光物産コーナー運営

「パスカルさんだ一番館」に観光物産コーナーを設置

ウ ツーリズム情報発信事業

インターネット等を活用した情報発信、観光パンフレットの配布

エ 三田市観光振興事業補助金

さんだ秋の観光と味覚まつり等の地域資源を活かした企画の実施

(4) 三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業

千丈寺湖畔の賑わい創出に向けた事業可能性を把握するためのサウンディング型市場調査を実施した。また、湖畔を活用した体験型プログラムを実施した。

産業政策課

1 商工業の振興

(1) 商工業の現状

令和3年経済センサスー活動調査によると、本市の民営事業所数は2,651事業所、従業者数は41,031人となっている。産業別に事業所数をみると、「卸売業、小売業」が655事業所（構成比24.7%）ともっとも多く、本市の事業所数の4分の1を占める。次いで「医療、福祉」が289事業所（同10.9%）、「宿泊業、飲食サービス業」が282事業所（同10.6%）と続いている。一方、従業者数では「製造業」が10,786人（同26.3%）でもっとも多く、本市の従業者数のほぼ4分の1を占める。次いで、「医療、福祉」が7,212人（同17.6%）、「卸売業、小売業」が6,981人（同17.0%）と続いている。

売上金額は、市全体で約9,499億円であり、産業別でみると、もっとも多いのが「製造業」の約5,667億円（構成比59.7%）、次いで「卸売業、小売業」の1,708億円（構成比18.0%）、「医療、福祉」の437億円（同4.60%）となっている。

(2) 商工会活動支援事業

ア 創業支援事業補助

三田市創業支援事業計画に基づいて、市、商工会及び金融機関等を中心に創業支援ネットワークを構成しており、商工会が実施している実践創業塾や創業支援セミナーなどの創業支援事業等に補助を行うことで、市内の起業の促進につなげた。

イ 地域産業振興事業補助

商工会が市内産業の振興を図るために実施する事業への補助や、各種事業が円滑に実施できる体制を確立するための支援や市内商店街が実施するイベント事業等にかかる業務等に対して補助を行った。

ウ インキュベーション施設運営事業補助

起業家の三田市内への定着・集積を促進するためにコワーキングスペース、レンタルオフィス、相談窓口等の機能を有するインキュベーション施設の運営に要する経費の一部について、商工会へ補助を行った。

(3) 商店街支援事業

ア 商業団体共同事業

市内商業団体が近代化または活性化を図るために共同で実施するイベント開催事業等に対して補助を行った。

イ 三田市商店街等お買い物券・ポイントシール事業

新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ消費需要を喚起し、地域商業の活性化を図るため、商業団体が実施するプレミアム付き商品券事業等に対し補助を行った。

- ・ 交付団体数：5 団体
- ・ 交付総額：60,943,000円

(4) 中心市街地活性化事業

ア 市街地賑わいイベント事業補助

三田市商工会が中心市街地商業の活性化を図るため、中心市街地商店街への集客拡大のために複数の商店街と共同で実施するイベント事業に対して補助を行った。

(5) 創業（希望）者に対する支援

ア 創業支援事業計画に基づく事業

三田市創業支援事業計画に基づき創業相談窓口を設置し、創業セミナーや創業実践塾の開催によって創業（希望者）へ支援を行った。また、創業支援者の管理のためカルテの作成を行った。

【創業支援状況】

年度	カルテ作成件数	創業件数
令和元年度	55件	15件
令和2年度	25件	10件
令和3年度	40件	16件
令和4年度	43件	12件
令和5年度	48件	13件

イ 起業家育成プログラム

起業への意欲の向上を図り、アイデアと創造力を活かした新しいビジネスにチャレンジする人材の育成に取り組み、アメリカ合衆国ニューメキシコ大学イノベーションアカデミー（UNM Innovation Academy）が実施する起業家育成プログラムを受講する機会を提供することで、起業家育成支援を行った。

ウ さんだチャレンジショップ応援事業補助

市内のテナントを活用して事業を開始する創業者を支援し、地域の賑わいの創出と活性化を図るため、事業の立ち上げ時におけるテナントの家賃の一部の補助を行った。

【チャレンジショップ活用状況】

年度	補助件数
令和3年度	2件
令和4年度	4件
令和5年度	3件

(6) 中小企業に対する支援

ア 中小企業振興長期資金融資あっせん事業

中小企業の資金調達の円滑化とその育成に努めるために、融資あっせん事業を行った。

【融資あっせん制度の制度概要】

資金用途	運転・設備資金
融資限度額	2,000万円以内
貸付期間	7年以内
融資利率	年1.16% (固定利率)
信用保証料	融資実行時に事業者が支払う信用保証料の5割に相当する額を市が負担する。

【融資あっせん状況】

(単位：千円)

年度	預託額	新規貸付実績		債務残高	
		件数	金額	件数	金額
令和元年度	219,000	6	74,000	64	238,194
令和2年度	220,000	8	116,920	56	257,056
令和3年度	213,000	10	75,000	51	265,129
令和4年度	203,000	9	69,800	50	251,066
令和5年度	205,000	3	35,000	45	219,363

【令和5年度の業種別融資状況】

(単位：千円)

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	運輸業	サービス業	その他	合計
件数	0	0	2	1	0	0	0	0	3
貸付額	0	0	15,000	20,000	0	0	0	0	35,000

イ 小規模事業資金融資あっせん事業

小規模零細企業向けの融資制度を平成20年度から実施している。

【融資あっせん制度の制度概要】

資金使途	事業資金
融資限度額	2,000万円以内 (1事業所につき既存の保証付融資残高との合計額が2,000万円以内となる額)
貸付期間	7年以内
融資利率	年1.16% (固定利率)
信用保証料	融資実行時に事業者が支払う信用保証料の5割に相当する額を市が負担する。

【融資あっせん状況】

(単位：千円)

年度	預託額 (中小と合同)	新規貸付実績		債務残高	
		件数	金額	件数	金額
令和元年度	219,000	20	105,410	105	260,225
令和2年度	220,000	8	37,000	71	150,644
令和3年度	213,000	9	50,000	67	153,996
令和4年度	203,000	5	25,200	58	132,520
令和5年度	203,000	2	15,000	45	105,062

【令和5年度の業種別融資状況】

(単位：千円)

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	運輸業	サービス業	その他	合計
件数	1	1	0	0	0	0	0	0	2
貸付額	5,000	10,000	0	0	0	0	0	0	15,000

ウ 経営継続支援事業

三田市小規模事業者物価高騰対策助成金

原油価格や物価高騰に伴う各種原材料費等の上昇により、厳しい経済状況に直面している市内小規模事業者に対して、事業の継続を下支えするための経済対策として、助成金を支給。

● 申請件数・交付額

申請日	申請件数	交付件数	交付額
8/1～11/30	216	210	10,500,000円
12/1～2/20(延長)	119	111	5,550,000円
合計	335	321	16,050,000円

●業種別交付内訳

業種名	交付件数	業種名	交付件数
建設業	60	医療・福祉	17
運輸業・郵便業	10	不動産業・物品賃貸業	9
製造業	28	学術研究、技術サービス業	27
小売業	44	教育・学習支援業	5
卸売業	15	農業・林業	6
サービス業	30	宿泊・飲食業	29
生活関連サービス業	35	金融・保険業	3
情報通信業	3		

(7) 工場立地状況

三田市企業立地促進条例に基づく優遇制度により、市内への企業誘致を進めている。

ア 固定資産税・都市計画税の課税免除

【課税免除の適用期間】

立地促進地区名	新設	増設	移設
北摂三田テクノパーク ニュー三田インダストリアルパーク	3年	3年	3年
北摂三田第二テクノパーク	5年	5年	3年

イ 水道料金の助成

年間5万m³を超える水量を使用した事業者に対して、年間5万m³を超える分の水道料金を助成する。助成の年数は、事業開始の翌年から起算して20年間である。

ウ 北摂三田テクノパークへの企業立地状況

- (ア) 工場敷地面積 989,000m²
- (イ) 進出状況 40社進出

エ ニュー三田インダストリアルパークの企業立地状況

- (ア) 工場敷地面積 100,000m²
- (イ) 進出状況 22社進出

オ 北摂三田第二テクノパークの企業立地状況

- (ア) 工場敷地面積 468,000m²
- (イ) 進出状況 13社進出

- (8) 北摂三田第二テクノパークにおける企業誘致に向けた取り組み
 大型産業団地である北摂三田第二テクノパークの企業誘致を促進するため、関係機関と連携しながら、情報提供などの取り組みを行った。
- (9) 「(仮称)北摂三田第三テクノパーク構想」
 「(仮称)北摂三田第三テクノパーク構想」の実現に向け重点候補地を選定し、地域への説明を行うなどの取り組みを行った。
- (10) 三田市技能金蘭賞表彰
 永年同一の職業に従事し、豊富な経験と優れた技能を有する技能者へ感謝とその功績を称え、表彰することで、勤労意欲の向上と技能者の社会的地位及び技能水準の向上を図ることを目的とした「三田市技能金蘭賞表彰制度」（平成29年度創設）の取り組みを行った。

2 雇用・労働対策

(1) 勤労者福利厚生対策

ア 勤労者住宅資金融資あっせん事業（平成20年度より新規貸付を廃止）

【融資あっせんの状況】（単位：千円）

年度	預託額	年度末債務残高	
		件数	金額
令和元年度	4,449	6	7,939
令和2年度	2,719	4	5,380
令和3年度	1,856	4	3,209
令和4年度	1,069	1	1,763
令和5年度	600	1	1,283

イ 三田市企業人権を考える会事務

従業員を生命を尊重し、互いに人としての権利を守り、明るい職場づくりを進めるため、企業が自らの課題として従業員と共にあらゆる差別の解消に向かって協議し、学習する。（65事業所・団体が加入）

(2) 雇用労働対策

ア 就職支援セミナー等の開催

若年層の求職者を対象としたセミナーなどを関係機関と連携して実施した。

名称	開催日	参加内訳
就職意識啓発セミナー	10月31日(火)	参加者 14名
自立就職支援セミナー	11月29日(水)	参加者 12名
若者就職応援企業訪問 バスツアー	10月13日(金)	訪問企業数 3社 参加者 5名
	11月20日(月)	訪問企業数 4社 参加者 16名
三田地域就職面接会	11月17日(金)	参加事業所数 15事業所 求人件数(職種) 38件 求人者数 121名
	3月1日(金)	参加事業所数 17事業所 求人件数(職種) 43件 求人者数 94名

イ さんだ若者サポートステーション

若者自立・就労支援事業として、厚生労働省の委託事業「さんだ若者サポートステーション」(運営：一般社団法人キャリアエール)を、平成20年10月6日より開設している。

働くことに悩む若者やその保護者の方に対する総合的な相談・支援を実施し、若者の社会的自立を支援している。

ウ 三田市雇用・就労支援相談所の運営

雇用・就労に関する相談窓口の紹介などを主な業務として産業政策課内に平成21年4月1日に設置し、相談業務を行っている。

3 企業版ふるさと納税

国が認定した地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対し、企業が寄附を行った場合に、税額控除の優遇措置(「地方創生応援税制」)が受けられる制度を活用し、企業から寄附を募り、地方創生の取り組みに活用している。

【企業版ふるさと納税寄附状況】

年度	寄附件数	寄附額
令和元年度	2件	686,215円
令和2年度	2件	376,328円
令和3年度	7件	5,300,000円
令和4年度	6件	4,600,000円
令和5年度	13件	5,500,000円

農業振興課

1 農業の振興

(1) 基本方針

三田市の農の将来像を「三田の「農」の未来を創る ―続ける・つながる・集う―」と定め、その実現に向けて次の基本方針により、各施策を推進する。

- 1 農産物の価値を高める
- 2 農業を続けられる仕組みを強くする
- 3 生産者の経営を支える
- 4 農業の生産基盤を整える
- 5 農を楽しむ暮らしを広げる

(2) 各種事業の実施

ア 経営所得安定対策

農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の向上と農業の多面的機能を維持するために、三田市農業再生協議会において、経営所得安定対策の推進及び行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や需要に応じた米生産の推進など、地域農業の振興を図った。

○令和5年産米の需要に応じた米生産の実施状況

水稲作付目安面積 a	1, 231.0ha
水稲作付実施面積 b	1, 240.7ha
うち加工用米換算面積 c	51.1ha
うち新規需要米取組面積 d	50.9ha
達成率 (b - (c + d)) / a	92.5%

○米以外の作物作付状況

(単位：ha)

	重点作物	一般作物	野菜	永年性作物	調整水田等その他	合計
面積	138.2	48.2	171.0	16.0	182.3	555.7

○経営所得安定対策 申請件数 411件

事業名称	取組件数
水田活用の直接支払交付金	388件

イ 農地流動化の推進

農用地の利用権設定等により、担い手農家への農地集積と規模拡大を図った。

担い手への農地利用集積面積 606.84ha

※令和6年3月31日現在

ウ 認定農業者・新規就農者等への支援活動

意欲ある農業経営者に対する農業経営改善計画の認定と、経営力の向上につながる支援を実施した。一方、新規就農者の確保・育成とあわせて、農業経営初期段階を円滑に軌道に乗せられるようにきめ細やかな支援を実施した。

○認定農業者、新規就農者、集落営農組織の経営体数

	認定農業者	新規就農者	集落営農組織
経営体数	57	14	24

※令和6年3月31日現在

エ 環境保全型農業直接支援対策

地球温暖化防止を目的として農地土壌への炭素貯留効果の高い営農活動や、生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者等に対して、国・県・市で支援を行った。

	取組面積	事業費
令和5年度実績	99.13ha	4,396,920円

オ 畜産の振興

○家畜の飼養戸数及び頭羽数

(単位：戸・頭・羽)

区分	乳用牛	肉用牛	鶏（成鶏）	豚
飼養戸数	6	23	2	1
頭羽数	319	2,340	3,500	5,399

※令和6年2月1日現在

(ア)三田肉、三田牛出荷奨励事業

三田市内で肥育される兵庫県産但馬牛を素牛とした肉牛を三田肉として出荷されるよう促進することで、歴史ある三田肉の安定した供給の確立を図った。

	事業費
令和5年度実績	3,790,000円

※補助金交付対象者 三田市肉牛生産振興会会員

(説明) 公益社団法人日本食肉格付協会による格付けが「A」「B」4等級以上、BMS（霜降り度合）No.7以上を「廻」と称し、「廻」1頭あたり5万円、それ以外は1頭あたり3万円を交付した。

(4) 多面的機能支払交付金

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、効率的かつ安定的な農業構造の確立と併せて、農業及び農村基盤となる農地・水・環境の保全とその質的向上を図る。

対象農地：農振農用地区域内にある一団の農用地

対象行為：地域資源の質的向上を図る共同活動及び施設の長寿命化のための活動

対象者：農業者，農業者団体，地域住民，自治会等地域実情に応じた者

交付額：（地目）（10 a 当たり単価）

田 最高 9, 200 円

畑 最高 5, 080 円

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
	活動組織数								
農地維持 資源向上(共同)	61	63	63	63	64	64	64	66	66
資源向上 (長寿命化)	37	42	43	44	48	48	50	52	52

(5) 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域（山間部やその周辺地域）は、地勢などの地理的条件が悪いため農業の生産条件が不利であることから、これら地域に対して農地を維持、管理していく集落等の団体と集落協定を締結したうえで、国，県，市により面積に応じて一定額を交付している。

対象地域：旧小野村と旧高平村（特定農山村法に基づく指定地域）、
県特認地域

対象農地：農振農用地区域内で 1 ha 以上の一団の農用地で急傾斜農地

対象行為：集落協定に基づく 5 年以上継続しての農業生産活動等

対象者：上記集落協定参加者

交付額：（地目）（平均傾斜）（10 a 当たり単価）

水田 1/20以上 21, 000 円(集落戦略有)

水田 1/20以上 16, 800 円(集落戦略無)

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
	活動組織数								
中山間地域等 直接支払制度	20	23	25	25	25	19	19	19	19

2 生産基盤の整備

(1) 農業用施設(ため池)改修及び廃止事業

工種	R4年度	R5年度	備 考
	箇所	箇所	
ため池改修	1	0	完了年度にて計上
ため池廃止	0	3	完了年度にて計上
合 計	1	3	

《参考》 ため池数

ため池種別	個 数	備 考
特定ため池	483	
(そのうち防災重点農業用ため池)	(298)	

(2) 農業用施設(ファブリダム)改修事業

R5年度は3箇所事業中

《参考》 ファブリダム数 市内で13か所

(3) 市単独土地改良事業

工種	R4年度	R5年度	備 考
	箇所	箇所	
水路	2	2	
その他施設	2	8	
合 計	4	10	

(4) 災害復旧事業

工種	R4年度	R5年度	備 考
	箇所	箇所	
農地	0	0	
農業用施設	0	0	
合 計	0	0	

里山保全課

1 里山の保全

里山は、集落内の森林が薪や炭などを採取する場として利用されることを通じ、自然の恵みが持続的に循環する中で維持・形成されてきた。人々の営みがつくりだした里山は、人里の自然をすみかにする多くの動植物が生息し、生物多様性の保全にとっても重要な場所となっている。その中で里山のもつ農村景観・水源かん養・緑地空間などの多様な機能の維持保全に努め、市民の余暇活動の場と機会の提供を図っている。

(1) 里山林整備事業

農村地域の里山林は、昔は薪炭林や農業用肥料などの生産に利用され、人手により農村景観を保ってきたが、現在では放置による荒廃が進んでいる状況にある。そこで、かつて見られたような落葉広葉樹などが広がる森林にするため、モデル事業として里山林整備事業を導入してきた。

現在、市民の環境教育、レクリエーション・交流・体験の場としての活用や里山ボランティアの活動拠点として利用されている。

ア 事業地

(ア) 高平ナナマツの森	三田市上槻瀬	3.6 ha
(イ) 高平観福の森	三田市布木、川原	1.8 ha
(ウ) 乙原てんぐの森	三田市乙原	2.1 ha

イ 里山保全ボランティア団体の育成

里山林整備事業の導入を契機に、市民参加による里山保全を進めるべく里山保全ボランティア団体の育成と充実を進めている。

(ア) 団体名	三田里山どんぐりくらぶ	
(イ) 会員数	14名（会員の多くが、「森の学校」の修了生）	
(ウ) 活動内容	ナナマツの森を拠点に下草刈り等を実施（月3回程度）	

(2) 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

森林所有者や地域住民等が協力して森林がもつ多面的機能を発揮させるため、里山林の環境保全活動等の推進を図る取組に対し支援した。

ア 2団体	活動面積 3.5 ha
-------	-------------

(3) 資源循環型里山林整備事業

自然の恵みが持続的に循環して維持・形成されてきた里山の再生を目指すため、資源循環型里山林整備のモデル事業として、里山林整備と木竹の循環利用の取り組みに対し支援した。

ア 4団体	整備面積 3,044 m ²
	循環利用（土壌改良剤、堆肥、竹炭など）

(4) 緑の募金事業

森林を守り美しい自然、豊かなかけがえのない緑を保つため、「緑の募金」等により、市民の方々に緑化意識の高揚を呼びかけ、また三田市緑の少年団の育成も図っている。

ア 三田市緑の少年団 50名

(5) 森林法に関する各種届出

健全で豊かな森林を作るため、森林法で義務付けられる各種届出の受理および森林の管理巡視を行っている。

ア 伐採及び伐採後の造林の届出件数	7件
イ 森林の土地所有者届出件数	10件
ウ 森林の管理巡視	1回/月

2 自然環境の保全

植物群落、生態系において「兵庫県版レッドデータブック」Aランク、「三田市生態系レッドデータブック」Aランクに位置づけられ、県の天然記念物にも指定された県内有数の貴重な湿原である皿池湿原において、生物多様性の維持を目的として、以下の取り組みを実施した。

(1) 市民ボランティア「皿池湿原の守り人」の育成

平成29年4月に「皿池湿原の守り人」を組織化し、現地において、毎月1回、保全管理活動を実施した。（令和6年3月末現在、個人62名、企業1社が登録）

(2) 皿池湿原保全管理作業

湿原環境の悪化を防ぐため、湿原や周辺の里山林において、ひょうご環境創造協会・県立人と自然の博物館の指導のもと、ササ類や雑木の伐採を実施した。

3 環境学習の推進

市民の自然や環境保全への関心と理解を高めるため、里山の生物多様性、景観などの多面性を活用し、市民が自然とふれあい体験する環境学習を推進している。

(1) 皿池湿原観察会

県の天然記念物にも指定された貴重な生態系が残る湿原の存在と魅力を知る機会として観察会（6月、8月）を開催した。

(2) ブイブイの森まちなか里山セミナー

都市環境に近接する生物多様性を保全する里山での、植生調査や管理体験など里山保全活動に関するセミナー（全5回）を開催した。

参加人数 13人

(3) 環境教育副読本

市内小学3年生を対象として「三田の自然」をテーマとした環境教育副読本を作成、配布した。

4 太陽光発電施設の設置規制

太陽光発電設備の設置に関して必要な規制を行い、地域環境との調和を図ることにより、良好な景観や環境及び市民の安全を確保する。

(1) 兵庫県太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例

届出件数 0 件

(2) 三田市 里山と共生するまちづくり条例

許可件数 1 件

5 林業の振興

森林生産活動については、造林意識の向上を図るなど造林事業を推進するとともに、松茸・椎茸などのきのこ類や山菜・炭などの特用林産物の振興を図っている。

一方、森林のもつ多様な機能を期待されている状況の中で、森林の維持保全に努め、水源かん養や緑地空間の保全をはじめ休養保健機能を活用した市民の余暇活動の場と機会の提供等も行っている。

(1) 森林面積 兵庫県林業統計書（R6.3 刊行）より

	森林面積	保安林の種類	保安林面積
民有林	13,175ha	水源かん養保安林	2,903ha
国有林	403ha	土砂流出防備保安林	185ha
		土砂崩壊防備保安林	1ha
		風致保安林	1ha
計	13,578ha	計	3,090ha

(2) 造林事業（令和5年度造林）

事業	件数	面積(ha)
下刈	0	0
除間伐	0	0
枝打ち	0	0
僑矮転	0	0
再造林		

(3) 森林病虫害等防除事業

ナラ枯れ被害対策としてナラ枯れ被害の拡大を防ぎ、森林機能の低下を防止し景観形成の維持を図る。

実施内容 兵庫県と共に森林病虫害被害状況調査を行った。

(4) 有馬富士公園管理事業

市立有馬富士森林公園の芝生広場や散策路、施設等を良好な状態に保つため、施設の維持管理や修繕及び植栽管理を実施する。

事業内容 施設維持管理及び修繕、植栽管理

(5) 山桜の里管理事業

母子大池周辺のログハウスやトイレ、散策路等を良好な状態に保つため、施設の維持管理や修繕及び植栽管理を実施する。

事業内容 施設維持管理及び修繕、植栽管理